

令和4年第1回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年2月9日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】教育行政の推進について

1. 名寄市立学校設置条例の一部改正について
提案内容について説明があった。
2. 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における実技に関する調査結果の概要について
小学校男女・中学校男子は、全国と比べて成果がみられた。中学校女子は、全国と比べ課題がみられた。
3. 令和4年度第1回定例会補正予算の概要について
提案内容について説明があった。
4. 名寄中学校・名寄東中学校耐力度調査結果
耐力度を「構造耐力」×「健全度」×「立地条件」で表した結果、10,000点満点中、名寄中学校は校舎南棟3,289点、校舎中央棟2,884点、校舎北棟5,980点、屋内運動場3,936点であった。名寄東中学校は校舎中央棟4,372点、校舎南棟3,709点、屋内運動場5,023点であった。ともに構造耐力が低い建物である。

<質疑等>

- Q 名寄市耐震改修促進計画では、名寄中学校、名寄東中学校の2棟について耐震性が不十分な状況にあり、令和7年度までにおおむね解消することに努めるとしているが、教育部としての認識と今後のスケジュールは。
- A 喫緊の課題と捉えているが、生徒数の推移、建設コスト等数値を集め整理している段階である。スケジュールは、庁内の議論を加速させ、速やかに示せるよう方向付けを行う。
- 意見 子どもの命を最優先に、教育委員会の中でしっかり議論していくことを求める。

【2】総合政策部所管事業について

1. 名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定について
スポーツ施策の一元化を行い、より効果的かつ効率的な市民サービスの向上による施設利用者・スポーツ参加者の増加を目指すとともに、スポーツによるまちづくりを目指すため、名寄市営球場条例のほか、体育施設に関する12本の条例の一部改正を行う。
2. 名寄市公共施設等再配置計画策定状況について
各施設の効果的配置とコンパクトなまちづくりを推進するため、2022年から2051年までの30年間を計画期間として策定する。

<質疑等>

- Q 名寄市耐震改修促進計画との整合性は。

A 図書館、児童センター、学生寮、生活支援ハウス、ワーケーション施設の5施設の計画案であるが、関連づけていく。

Q 名寄中学校、名寄東中学校の改修により、公共施設の配置が変わる可能性は。

A 医療施設、教育施設は外して計画している。配置が変わることはない。

意見 優先施設との関連性をもって計画をする必要がある。

3. 名寄市総合計画アンケート結果について

総合計画後期計画策定に向けて、課題の整理と市民ニーズの把握を目的に、令和3年10月29日から11月26日までアンケート調査を行った。結果、前回から満足度が向上した項目は6項目、満足度が低下した項目は18項目であった。

4. 宗谷本線名寄高校駅セレモニーについて

3月12日(土)13時20分から、テープカットや愛称の表彰など、セレモニーを行う。また、前日には地域主催で東風連駅記念イベントを行う。

5. Nスポーツコミッション「なよろ健康レシピ開発プロジェクト」について

北海道味の素株式会社、名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター、Nスポーツコミッションによりプロジェクトを発足、「食・健康・スポーツ」をテーマにしたレシピの開発を行った。

野菜たっぷりのチキングラタン、12品目の中華丼は2月11日から発売される。

6. 総合政策部令和4年第1回定例会提出補正予算について

提案内容の説明があった。

【3】名寄市立大学の運営について

1. 名寄市立大学の現況について

(1) 学生の就職活動について

令和3年12月1日現在の内定率は、栄養学科80.0%、看護学科93.0%、社会福祉学科74.0%、社会保育学科83.0%であり、令和4年2月1日現在の内定率は、全体として90.4%である。

(2) 学生生活に関する各種支援について

国からの10万円の給付金のほか、市民からは米やレトルト食品、日用品などの支援があった。

(3) 令和4年度一般選抜入試志願状況について

前期日程では、栄養学科2.4倍、看護学科3.2倍、社会福祉学科1.8倍、社会保育学科1.1倍、後期日程では栄養学科9.8倍、看護学科14.4倍、社会福祉学科14.6倍、社会保育学科7.4倍となっている。

2. 大学院及び助産師課程の検討について

これまでに大学院・助産師課程設置検討会を13回開催、この間の検討経過を教授会に6回報告してきた。

大学院の教育課程は、健康科学研究科健康科学専攻(仮称)で、修士(栄養学、看護学)が取得可能となり、入学定員を10名程度予定している。標準就業年限は2年とする。

助産師課程は、保健福祉学部看護学科助産師課程を教育課程とし、助産師国家試験受験資格の取得を可能とする。募集定員は4名とする。

<質疑等>

Q 大学院設置に関わり、修士論文指導教員の状況は。

A 教員の状況を考え1専攻科とした。教員確保に向け可能性を探る。

3. 令和4年第1回定例会提出補正予算について
提案内容について説明があった。

【4】総務部所管事業について

1. 名寄市における押印見直しの実施について

「名寄市規則で定める申請書等における押印の特例に関する規則」を策定し、印を省略することを可能とする。同様の規程を告示、訓令、その他委員会規程等においても制定する。名寄市広報3月号及び名寄市ホームページで市民周知を行い、令和4年4月1日から施行する。

2. 令和4年第1回定例会に係る総務部提出補正予算について
提案内容について説明があった。

【5】公共交通について

常任委員会で視察を予定していた広島県広島市と山口県周南市（コロナウイルスまん延防止等重点措置を受け視察を断念）の公共交通について郵送により届いた資料と、地域における公共交通の現状のまとめを配布。次回2月14日に常任委員会を開催し、研修を深める。また、スクールバスの運行規程や運行状況について、担当者に説明を求める。

第2回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年2月14日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】公共交通について

1. スクールバスの運行状況について

名寄市スクールバス運行規程により、令和3年度は6路線の運行（名寄地区2路線、風連地区3路線、智恵文地区1路線）があり、年間運行委託料21,417,000円、年間燃料費は1,604,260円（1月分まで）である。

スクールバスの住民利用に係る文部科学大臣の承認については、「へき地児童生徒援助費等補助金に係るスクールバス・ボートの住民の利用に関する承認要領」による。

〈質疑等〉

- Q 承認要領の中で「交通機関がない」とは、公共交通のことを言っているのか。バスやJRのことか。タクシーはどうか。
- A 国の通達であるため、確認する。

2. 先進事例による研修

- ・広島県広島市「やぐちおもいやりタクシー」
- ・山口県周南市「鹿野地域等集合タクシーふれあい号」

3. 地域における公共交通の現状について

- * 地域住民の足を守るため、住民に寄り添った提言を考える。
- * スクールバスの住民利用について調査研究をする。
- * 令和4年第1回定例会（3月）での提言を予定していたが、より内容を充実させることを目的に先進事例の現地視察も行き、提言の時期を延期する。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第3回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年4月8日	会 場	第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

【1】名寄市立大学の運営について

1 名寄市立大学と北海道の福祉分野の人材育成に関する協定について

協定により、専門職・有資格者の道内での活躍促進、福祉行政分野への就労促進、地域活動への貢献が推進されることとなる。

2 令和3年度実施国家試験等の状況について

令和3年度実施の各種国家資格合格率は次の通りであった。()内は全国新卒合格率

栄養学科	管理栄養士	97.4%	(92.9%)
看護学科	看護師	100.0%	(96.5%)
	保健師	100.0%	(93.0%)
社会福祉学科	社会福祉士	66.7%	(52.4%)
	精神保健福祉士	90.0%	(73.3%)

また、就職率は、栄養学科及び看護学科は100%、社会福祉学科98%、社会保育学科97.9%、全体の就職率は98.9%であった。

<質疑等>

Q 国家試験不合格者への対応は。

A 国家試験が不合格であっても、就職しながら資格取得を目指すためその支援をする。

Q 保育士資格を活かした就職の状況は。

A 46名の就職は、保育士23名、幼稚園教諭8名、保育士・幼稚園教諭以外が15名であった。

【2】総合政策部所管事業について

1 名寄市公共施設等再配置計画について

2月に名寄市公共施設等再配置計画(案)を示した後、パブリックコメントを実施。

令和4年3月に名寄市公共施設等再配置計画として策定した。内容は次の通り。

第1章 計画策定の目的と考え方

第2章 まちづくり及び対象施設の現況と課題

第3章 社会の変革を見据えたこれからの公共施設のあり方

第4章 再配置方針とプログラム 第5章 再配置計画の推進に向けて

資料編

計画の実現に向けては、北海道大学森教授のアドバイスを受けながら、ワークショップを開催し、市民議論及び市民理解を進めていく。

2 その他

・名寄市の地域公共交通について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第4回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年5月11日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

1 公共交通について

総務文教常任委員会行政視察（令和4年4月23日～4月27日）の報告書をもとに、公共交通についてのまとめに向けた計画を以下の通り確認した。

5月24日（火） 公共交通について、行政視察を活かし調査項目についての報告を各委員から提出。

5月25日（水） 第5回総務文教常任委員会にて、委員会調査項目のまとめについて協議。

6月 3日（金） 第6回総務文教常任委員会にて、行政視察報告のまとめについて協議。

6月下旬 名寄市議会第2回定例会において、行政視察報告及び総務文教常任委員会所管事務調査についての、まとめの提言を行う。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第5回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年5月25日	会場	4階 大会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について

1 名寄市立大学の現況について

- ① 大学の教職員数 教員数 81 名、事務職員数 43 名
- ② 学生の在籍状況
栄養学科 161 名、看護学科 195 名、社会福祉学科 199 名、社会保育学科 202 名
- ③ 入学・志願状況
保健福祉学部全体で、志願者 551 名に対し受験者 373 名
合格者 226 名の内、入学者 187 名、平均倍率 1.7 倍
- ④ 令和4年度入学生の出身高校所在自治体
多い自治体（北海道内） 旭川市（25 名）、札幌市（18 名）、帯広市（9 名）
北海道外 岩手県（18 名）、秋田県（8 名）、青森県（7 名）

2 コミュニティケア教育研究センター

令和3年度活動実績報告及び令和4年度活動計画について

- 報告 教育分野、研究分野は基より、先駆的实践として「なよろ子ども支援プロジェクト」、自治体・関係機関等との協力として、Nスポーツコミッション「なよろ健康レシピ開発プロジェクト」の実践を報告
- 計画 組織運営、教育、研究、先駆的实践、地域交流、社会連携、情報発信の事項毎に計画

3 助産師課程（看護学科）の申請について

本年7月末日までに、文部科学省高等教育局医学教育課へ、保健福祉学部看護学科助産師課程（定員4名）の申請を予定。

〈質疑等〉

- Q 公立旭川大学の地域枠に対する対応は。
- A 今後学内で検討していく。上川北部に設けている地域枠に対し、最大数の受験につながっていない。コロナ禍で高大連携授業はできなかったが、オープンキャンパスをポイントとして入学者に繋がる取り組みを進めていく。
- Q 社会保育学科全員が、保育士として就職するための手立ちは。
- A 就職は、あくまでも本人の選択であるが、実習先確保とともに適切に実習が進められるようにする。

【2】教育行政の推進について

令和4年度所管事項の概要について

1 学校教育課

- ・児童生徒数 1,761名(77名減) * () は対前年度比
- ・学級数 普通学級 68学級(2学級減)
特別支援学級 46学級(3学級増)
- ・学校教育情報化推進事業整備状況について
令和4年度、オンライン学習配信機器セット(ビデオカメラ・收音マイク等)の整備、モニタリングソフトを導入

<質疑等>

Q 一人一台タブレットの教育的効果を高める上で、家庭への持ち帰りの計画は。

A 各家庭の通信環境を確認、検討している状況。

2 参事(特命課題担当)

① 高等学校支援事業

- ・令和4年度第1回名寄市内高等学校魅力化推進委員会開催
- ・コミュニティスクール形成に向けて勉強会開催予定(6月7日)
- ・名寄市内高等学校学習教材支援事業補助金
令和4年度入学生に対し補助 141名×3万円=423万円

② 智恵文義務教育学校整備事業

- ・5月下旬入札を予定。8月から令和5年3月に新棟増築工事の予定
- ・智恵文義務教育学校開校準備委員会において、校章、校歌等について協議

③ 名寄中学校・名寄東中学校の整備方針について

令和3年度実施の耐力度調査結果と名寄市内中学校生徒・学級数推計により、名寄中学校は改築、名寄東中学校は改築の整備方針

3 参事(指導主事)

- ① 知・徳・体の調和のとれた児童生徒をはぐくむ教育の推進
- ② 特別支援教育の推進
- ③ 社会変化に対応する力を育てる教育の推進
- ④ 信頼される学校づくりの推進

4 生涯学習課・名寄市公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

5 智恵文公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を柱に事業を計画する。

6 風連生涯学習担当・風連公民館

生涯学習社会の形成、家庭教育の推進、青少年の健全育成、地域文化の継承と創造を主要施策とする。

7 児童センター・青少年センター・教育相談センター・放課後こども教室

① 児童センター

- ・児童館 安全安心な居場所を提供
- ・児童クラブ 安全安心な居場所の提供とともに、児童の健全な育成を図り保護者の

仕事と子育ての両立を支援

- ② 青少年センター 巡回活動を再開
- ③ 教育相談センター ハートダイヤル、適応指導教室（愛称「みんなの教室」）の取組
- ④ 放課後こども教室 名寄地区、風連地区において、小学生に特化して開催

8 北国博物館

特別展2件、企画展11件の他、青少年対象事業「小さな自然観察クラブ事業」などを予定

9 図書館

主要事業計画

- ① 「第4次名寄市子どもの読書活動推進計画」に基づく各種取組
- ② 各種計画と整合性を図りながら、本館建替えに向けた検討

10 天文台

天体観測並びに研究活動を通じ、天文愛好者・天体観測関係機関との連携をいかすことにより、市民への天文知識の普及と科学教育の振興を図る。

11 学校給食センター

可能な限り地場産食材と活用し、1日約2,100食、年間日数約200日の提供を予定
〈質疑等〉

Q 食材の高騰が懸念されるが、給食費への影響は。

A 今年度、給食費を上げる予定はない。

【3】総合政策部所管事業について

1 令和4年度主要事業説明

(1) 総合政策課

- ① ふるさと応援寄附記念事業 新たな返礼品の掘り起こしと周知の拡充を行う。
- ② ゼロカーボン推進事業 再生可能エネルギーによるまちの活力UP事業等
- ③ 王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約に係る敷地の利活用

(2) 計画担当

- ① 名寄市総合計画（第2次）
 - ・後期基本計画策定に向けた取組として、5月から関係団体等との意見懇談会を開催
 - ・中期実施計画事業の事務事業評価として、5月に総合計画審議会による外部評価を実施
- ② 地方創生について
 - ・名寄市総合計画（第2次）後期基本計画と整合を図り、名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定を行う。
 - ・名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略
現人口ビジョンと2020国勢調査人口・名寄市住民基本台帳人口に大きな乖離が生じたため、現状に即した人口推計に改定
 - ・企業版ふるさと納税
令和3年度実績は、3件 10,200千円
- ③ 定住自立圏構想
協定項目の加除について協議、構成市町村会議の開催、共生ビジョン懇談会の開催
- ④ 名寄市公共施設等再配置計画推進に向けた取組

講演会、タウンミーティング、まちづくりワークショップ開催

<質疑等>

- Q 人口推計が大きく乖離との意味合いは。人口推計の変更による計画変更の基本的考えは。
- A 人口推計の改定に沿って、計画を変更していく。
教育部の計画は、児童生徒の生の人数を基本としている。

(3) 地域課題担当

① 地域公共交通の取組について

- ・宗谷本線活性化推進協議会における取組、宗谷線ステーションカードの配布等
- ・地域公共交通活性化協議会において、コミュニティバス西回り線減便に対する検討

② 地域コミュニティの推進

<質疑等>

- Q 宗谷本線「なよろ高校駅」の利用状況は。
- A 利用生徒数はおさえていないが、宗谷本線として利用者数が伸びている。

(4) 秘書広報課

① 移住定住推進

移住体験ツアーの受入、移住オンラインイベント実施、モニターツアーの実施等

② 広報広聴推進

市長訪問広聴、出前トーク、プロモーション推進事業等

(5) スポーツ・合宿推進課

① スポーツ施設整備事業

スポーツセンター暖房設備等改修工事、市営球場グレーチング改修工事等

② スポーツ振興事業

スポーツフェスティバル、JOC ジュニアオリンピックカップ 2023 全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本小・中学生選抜スキー大会、学校施設開放事業等

③ スポーツ合宿推進事業

冬季スポーツ拠点化事業

N スポーツコミッション運営支援として、スポーツ人材育成事業、スポーツ健康ステーション開設、スポーツ地域活性化、広域まちづくり事業

2 新たなスポーツ施策の展開について

N スポーツコミッション新組織体制と将来像素案・・・2028～地域商社を目指す

3 補正予算について

【4】総務部所管事業について

1 主要施策及び報告事項について

(1) 総務課

- ア 新個人情報保護法に対応するための例規整備
- イ 北海道市町村職員退職手当組合理約変更

(2) 総務部（行革・職員・研修担当）

ア 職員研修について

北海道市町村職員研修センターへの派遣研修、「山形県鶴岡市」「東京都杉並区」

「北海道後期高齢者医療広域連合（札幌市）」への職員派遣

- イ 職員定年延長制度の導入について
定年退職年齢が、「60歳」から「65歳」に段階的引き上げ、役職定年制の導入
- ウ 令和5年度名寄市職員採用について

(3) 総務部（デジタル推進担当）

本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について
令和4年度名寄市DX推進事業として、庁舎全体の業務可視化調査を行い、デジタルによる業務改善を目指す。

(4) 総務部（防災担当）

- ア 令和4年度名寄市防災訓練について
小学生対象の「防災体験教室」を実施
冬期間や感染症対策を意識した防災セミナーなど検討中
- イ 名寄市防災マップの作成について
河川の新たな浸水想定公表と土砂災害警戒区域の新たな指定に伴い、防災マップを作成
- ウ 名寄市地域防災計画の修正について

(5) 市史編さん室

- ア 名寄市史の進捗状況について
新たな市史の名称は「名寄市史（新市版）」、令和6年度の発刊を予定。

第6回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年6月3日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

1 公共交通について

テーマとしている「公共交通について」、委員会の所管事務調査報告書作成に向けた委員間協議を行った。

主な提言内容

- ① 地域の生の声を取り込むことのできる、地域住民による地域協議会組織の設置
- ② 利用者増の観点から、小学生・大学生・高齢者・障がい者などの交通弱者に対する料金の無料化・低料金化
- ③ 市内循環の利用者増を目指した路線、ダイヤの見直し
- ④ 利便性向上を目指したデマンドタクシーの推進と、スクールバスの見直し・活用

※ 調査、研究を重ねてきた内容を提言書としてまとめ、第2回定例会最終日（6月23日）に提言することを決めた。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第7回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年8月24日	会 場	4階 第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について

1 令和5年度学生募集・確保について

(1) 令和4年度オープンキャンパスの実施状況について

7月2日（土）と7月31日（日）の2回開催し、参加者数は143名（保護者114名）と197名（保護者151名）であった。

内、名寄市内参加者数は4名と11名、道外参加者数は5名と11名であった。

3回目のオープンキャンパスは、10月1日（土）に予定

(2) 高校訪問・進学相談会の状況について

244校（道内113校・道外131校）へ高校訪問を行い、35会場（道内32会場・道外3会場）で進学相談会を実施

(3) 魅力プロジェクトなよろについて

大学の魅力発信と学生確保に向け、今年度新たな方策（広報活動）を企画

①バーチャル大学見学 → 学生が学内施設を紹介の様子を撮影し、配信

②在学生の里帰り高校訪問 → 夏休み等を利用し、在学生の有志が母校を訪問

③他大学との交流による情報発信 → 8月19日、帯広畜産大学で大学訪問を実施

④SNSで名寄市立大学の魅力発信

<質疑等>

Q バーチャル大学見学について、撮影完了の目処は。

A 入試前までには完成し、活用していく。

Q 在学生の里帰り高校訪問は、何校で実施されているのか。

A 一人一校で30名の在学生が、パンフレット一式持参し動いている。

2 学生の就職活動について

一般的に新規採用をする企業が増え、落ち着いた取組が進んでいる。

現時点では、約180名中、40名以上が内定を得ている。国家試験対策も行っている。

3 その他

3号館と体育館のLED化について

【2】教育行政の推進について

1 補正予算について

2 NAYORO スタイル 部活動改革推進事業について

(1) 部活動指導員、特別部活動指導員の登録状況について

7月31日現在、風連中(16名)、名寄中(3名)、名寄東中(3名)の合計22名が登録

(2) 部活動学校間バス移動モデル事業(合同部活動)について

- ・5月より、風連中から名寄中への送迎(バレー部)
- ・8月より、名寄東中から名寄中への送迎(野球部)
- ・8月より、智恵文中から風連中への送迎(野球部)

(3) ICT 部活動支援事業

2学期から、3校7部活動で実施予定

3 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

児童161名・生徒175名を対象に調査の結果、学力は維持できており、特に、小学校において、理科専科指導により、小学校理科の平均が全国より高い結果となった。

しかし、「自分の考えや根拠を明確にして話したり書いたりすること」や「表現力」に課題が見られた。

質問紙からは、自己有用感が高い傾向にあることや、「いじめ」はいけないことだという認識が高いとの結果が見られた。

学習状況としては家庭学習をする時間が短い傾向にある。

4 小中学校施設整備について

名寄中学校整備事業 9月に校舎等改築検討委員会設置

智恵文小中学校整備事業 7月14日入札、8月2日随意契約

9月 小学校棟増築本体工事(令和5年3月完成予定)

10月 中学校棟改修工事(令和6年1月完成予定)

5 高等学校支援事業について

6月7日 講演会「高校と地域の協働を支えるコミュニティ・スクールとは」

7月26日 第2回魅力化推進委員会

8月~10月 毎月1回新設校の情報発信

6 その他 条例改正について

【3】総合政策部所管事業について

1 再生可能エネルギー導入計画策定業務について

令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金採択

再生可能エネルギーの導入目標及び本市における地域課題の解決につながるような施策の方向性を示すとともに、目標達成の具体的なビジョンを策定する

令和5年2月 計画策定完了

2 名寄市総合計画(第2次)後期計画策定状況について

4月25日、総合計画審議会開催後、8月29日までに計8回の審議会を開催。

9月1日、総合計画審議会会長から市長に答申予定。その後、パブリック・コメントを実施予定。

3 スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手総合支援事業について

N スポーツコミッションの法人化に向けた経営計画策定に関する情報収集を目的に、7月10日~13日の日程で先進地視察。その後、7月15日・8月10日の2回スポーツ団体組織統合検討会議を開催。

- 4 スポーツイベント開催について
 - ・ 9月11日 2022NSC 街なか運動会
 - ・ 9月19日 第1回名寄ピヤシリスキー場ヒルクライムレース
- 5 第3回定例会提案補正予算について

【4】総務部所管事業について

1 報告事項について

(1) 総務課

ア 名寄警察署跡地の取得について

令和4年8月17日、2144万円で取得。今年度中に市役所駐車場及び防災倉庫を整備。

(2) 総務部（行革・職員・研修担当）

ア 「名寄市の休日に関する条例」等の一部改正について

(3) 総務部（デジタル推進担当）

ア 本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について

令和4年度名寄市DX推進事業

株式会社MAIAと、庁内全体の業務量の可視化調査、名寄市DX推進計画の策定などを業務内容として委託契約。

イ 名寄市DX推進組織委員会及びワーキンググループの設置

計画的かつ効果的に推進するため、関係各部連携のもと総合的な調査及び対策の企画立案を行う。

ウ DX講習会の開催（デジタルによる柔軟な意識改革）

a 管理職向け講習会 「DXに係る想いをカタチにする企画力や実現力の身につけ方」

b 部・次長向け、課長向け 「DXとは何か、今後のDX施策への展望（予定）」

エ デジタルデバインド対策（高齢者向けスマホ教室の開催）

7月15日 2回開催17名参加

9月8日 2回開催予定（定員各10名）

11月及び3月 計4回開催予定

(4) 総務部（防災担当）

ア 令和4年度名寄市防災訓練について

名寄市防災訓練「防災体験教室2022」

名寄西小学校を会場に、児童190名、保護者27名（延べ）、教員34名、防災マスター3名、機関担当者43名により実施。

成果として、大雨時に発生する災害やその災害から身を守る知識などについて、体験を通して「自ら考え判断できる力」と「想像力」を身につけることができた。また、地域防災マスターとの連携実施により、地域の防災力向上につながったと考える。

<質疑等>

Q 今回は名寄西小学校での開催であったが、今後の計画は。

A 今回は、道に一つの体験装置を借用した。今後、教育委員会と調整したい。

Q 防災マップの進捗状況は。

A 9月完成、10月配布で計画している。

意見 今回の様な体験伴う防災訓練を毎年の開催すること望む。

地震に対する防災訓練も進める必要がある。検討を求める。

2 その他
第3回定例会提案条例改正について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第 8 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 4 年 9 月 5 日	会場	4 階 第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

連合審査会開会の申し入れについて

経済建設常任委員会に付託された「令和 4 年第 3 回定例会 議案第 2 号 名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について」、総務文教常任委員会の所管事務との関連があることから、会議規則第 101 条の規定により 9 月 6 日（月）午前 10 時 30 分及び 9 月 12 日（月）午前 10 時から連合審査会を開会したい旨申し入れがなされた。
協議の結果、満場一致で申し入れに同意することを決定した。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第9回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年9月12日	会場	4階 大会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

所管事務調査について

総合政策部所管事業について

1. コミュニティバスの西まわり線減便と新たな交通モードの検討について
名士バス（株）から、運転手不足と利用者減少のためコミュニティバスの西まわり線を減便したい旨、名寄市地域公共交通活性化協議会へ要望書が提出されていた件について、10月から減便され、現状の11便が2便となる。
今後は、新たな交通モードの検討を行なっていく予定。

<質疑等>

- Q 西まわりの減便対応だが、今後の対応については市内全体の公共交通網の取り組みとなるのか。
- A 全体に広げるかどうかも含め現時点では結論が出ていない。
行政の責任として、デマンドの研究、実証実験実施の可否について検討していく。
- Q デマンド導入の実証実験を行わないこともあるか。
- A 今後は、専門部会で検討することになるが、新たな交通モードについて専門部会に提案していく。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美

第10回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年10月25日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				
所管事務調査について その他委員会所管事項について 以下の市内所管施設について、視察を行った。 ・北国博物館 ・名寄高校駅 ・ヤマト発電システム ・名寄市風連歴史民族資料館 ・名寄中学校					
報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美					

第 1 1 回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年11月11日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】名寄市立大学の運営について

1. 令和5年度入学者選抜試験の実施スケジュールについて 〈 〉内は会場
 11月22日（火） 学校推薦型選抜、社会人選抜、3年次編入学試験 〈名寄〉
 2月25日（土） 一般選抜（前期日程）試験 〈名寄・札幌・仙台〉
 3月12日（日） 一般選抜（後期日程）試験 〈札幌〉

2. 令和5年度大学入学共通テストの実施について
 1月14日（土）・15日（日） 〈名寄〉

3. 令和4年度オープンキャンパスの実施状況について
 開催日 10月1日（土）
 参加者数154名
 道内149名（内名寄市内6名）
 道外 5名（青森県1名、秋田県1名、岐阜県2名、京都府1名）

4. 助産師課程の申請状況について
 令和4年7月29日、文部科学省高等教育局医学教育課へ新規申請。9月22日、同課から質疑があり、10月6日メールにて回答。10月31日付けで認可。
 申請の概要 教育課程：保健福祉学部 看護学科 助産師課程
 募集定員：4名
 選抜試験・履修開始時期：2学年後期に選抜試験実施。3年次より助産学に係る科目を履修

5. その他
 ・補正予算について

【2】教育行政の推進について

1. 名寄市博物館条例の一部改正について

2. 小中学校施設整備について
 - (1) 名寄中学校整備事業
 - ①基本設計・実施設計委託業務について
 現在 プロポーザル選定委員会等で委託業者の選定
 11月中旬 技術提案書及びヒアリングから受注者決定
 12月上旬 契約締結（予定）

今後 名寄中学校校舎等改築検討委員会立ち上げ・新校舎改築に向け検討・協議

②智恵文小中学校整備事業

10月上旬 小学校棟増築工事（基礎）

10月11日 屋内運動場改修工事 暖房器具更新・小学生用バスケットゴール設置・トイレ改修等

11月末日 屋内運動場改修工事終了予定

開校準備委員会

- ・智恵文地区の住民にとって、大変親しみのある現智恵文中学校校歌を引き継ぐ。
- ・智恵文地区全戸に校章のデザインを募集。応募デザインの中から開校準備委員会で協議

3. 高等学校支援事業について

①新設高校の情報発信について

「新設高校マガジン」の作成及び You Tube を活用した概要説明動画の配信を行った。

②第3回魅力化推進委員会・・・11月1日開催

- ・名寄版コミュニティ・スクールについて
- ・高校支援策について

4. 補正予算について

5. その他

- ①部活動改革について・・・関係者23名（内事務局4名）による自由意見による意見交換を行う。今後も継続して意見交換を行う。

<質疑等>

Q 産業高校に生徒が後2年残るが、教員の状況に変化はあるか。
名農キャンパスの家畜等の状況及び対応は。

A 入学した生徒に対しては、最後まで責任を持って教育がなされるものと認識している。
家畜等の情報はないが、今まで通りの教育活動が行われていくのではないかと考えている。

意見 一部生徒からも不安の声が上がっていることに対し、不安のないよう対応を求める。

【3】総合政策部所管事業について

1. 名寄市公共施設等再配置計画の進捗状況について

令和4年度の取り組み状況として、市民ワークショップ8回（内2回は今後実施予定）、庁内検討会議2回、森教授講演会、総合教育会議を実施。年度内に報告し、まとめに向かう予定

<質疑等>

Q 図書館については、前任期で行った総務文教常任委員会の提言を基にすると、目的や主旨が違ってきているのではないかと。賑わい創出が一義になってきているように思う。本来の図書館機能を大切にしていくなかで、複合的意味合いを付け加えていくことが変わってきている。本来的な部分をどう考えているのか。

A ずらしてはいけない考え方を重要視していくことに違いはない。
今回は、集められた市民の声として大切にしている。中間報告である。

Q ワークショップメンバーに総務文教常任委員会の提言書は説明されているか。

A 教授や図書館職員には提示している。

- Q 市民に説明してからの議論か。経過説明だけでは意味がない。
- 意見 総務文教常任委員会の提言だけが全てではないが、都合の良いまとめになってきているような印象を持つ。夢のある図書館像とは合致しない。「教育のまち」として、中心となる図書館となるよう進めてほしい。
- A いただいた意見を受けとめ進めていく。

2. 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンの改定について
現総合戦略が今年度までの計画期間であるため、企業版ふるさと納税など切れ目のない支援を受けるためには今年度中の改定作業が必要。
総合計画後期基本計画の内容に沿い、かつ企業版ふるさと納税の活用に向けた内容を追加した一部改訂を行う。
また、名寄市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンで定める数値と2020国勢調査人口、名寄市住民基本台帳登録人口に大きな乖離が出ている。合計特殊出生率を1.52とし、他のデータも時点修正する。
3. 名寄市総合計画（第2次）後期基本計画 パブリック・コメント実施結果について
3名から6件の意見があり、骨子・内容に変更はないが、追加4件、文言修正1件として対応。
4. 施設整備事業について
- ・なよろ健康の森木製遊具修繕業務・・・9月5日、天板張り替え修繕完了
 - ・スポーツセンター暖房設備等改修工事・・・11月18日完了予定（11月1日から通常開館）
 - ・市営スケートリンク・・・施設を管理・運営していた団体が解散、コロナ禍で管理棟プレハブの拡張が必要となるが予算確保が困難、市が直接開設する場合の担当職員配置が困難。などの理由により今年度から施設を廃止する。

<質疑等>

- Q 名寄の冬を楽しく暮らす条例も持っていないながら廃止するのか。冬季スポーツの拠点化や札幌オリンピック誘致などある中で、どんな判断をし、対応してきたのか。市の対応に疑念を持つ。再開の道が閉ざされるのはいかがなものか。
- A コロナ対策で閉鎖した段階での方法等、議論してきた。団体とやりとりをしてきたが、厳しい状況であり、残念であるが判断するに至った。

5. スポーツ合宿推進事業
- ①2023年第5回スペシャルオリンピックス日本 北海道冬季大会の誘致
令和5年2月4日～2月5日の日程で4競技・選手約60人
 - ②JOC ジュニアオリンピックカップ2023全日本ジュニアスキー選手権大会兼全日本中学生選抜スキー大会の誘致
令和5年3月10日～3月12日の日程で3競技・選手約450人
6. スポーツ団体組織統合について
11月11日までに3回の検討会議を実施。第4回検討会議は11月14日に開催予定
7. その他
- ・補正予算について

【4】総務部所管事業について

1. 名寄市防災ガイドマップについて

国・北海道における浸水想定区域の公表、及び土砂災害警戒区域等が指定されたことに伴い、新たな防災ガイドマップを作成、広報10月号とともに配布、市民周知を図った。

2. 令和4年度名寄市防災訓練「名寄市防災セミナー」について

防災や避難などに関する理解を深め、災害に強いまちになることを目指し、令和4年11月9日、グランドホテル藤花を会場に、防災講話・図上訓練・備蓄食料の配布を行った。

〈質疑等〉

Q 北朝鮮からのミサイル発射に関わって、Jアラートが発信された時の市民理解が深まるような対応について、考えは。

A 今後進めていく。

Q コロナ禍での図上訓練より実訓練が大切、考えは。

A 小学校で進めているが、町内会への呼びかけは行っていない。町内会での動きがあれば積極的に関わっていく。

3. その他

①指定管理者の指定について

②補正予算について

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美